

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	公正で適正な選挙の執行 (総合計画体系外)	② 施策番号	0201
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	—		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	—		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	—		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合事務局	総合事務局		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	選挙人
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	選挙を通して市民の意思を政治・行政に反映できるよう適正に執行する。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	選挙権年齢が引き下げられたことを契機に選挙への関心が高まっている。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 選挙管理執行上のミス 計算式	件	発生してはならない事案である。
② 異議申出件数 計算式	件	発生してはならない事案である。
③ 計算式		

指標名	単位		H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 選挙管理執行上のミス	件	目標値	0	0	0	0	0	
		実績値	0	1	1	—	—	
		達成率						
② 異議申出件数	件	目標値	0	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0	—	—	
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	選挙等執行事業	選挙管理執行上のミス	件	1	1	0	40,556	39,456	95,405	A	ア	◎
2	選挙管理委員会運営事業	選挙管理執行上のミス	件	1	1	0	4,203	4,220	4,715	A	ア	○
3	選挙人名簿登録関連事業	異議申出件数	件	0	0	0	883	892	892	A	ア	○
4												
5												
6												
7												
8												
計	3						45,642	44,568	101,012			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	総合計画体系外
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	適正に選挙が執行されている。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	地方自治法に基づき設置された行政委員会である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	公職選挙法に定められた義務的的事业であり、適正に執行している。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	法令で定められた事業であり、適正に管理執行されており、現状を維持する。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	投票事務については機械化等により、迅速かつ効果的な執行が可能と思われる。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	複数人による点検を徹底することにより、管理執行上のミス無くす。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	各係の配置人員等の点検を徹底することなどにより、迅速かつ正確な執行を目指す。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	投票事務の機械化により事業の迅速化・効率化に取り組む。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	適正な選挙の執行に向けた取組を継続して進められたい。 迅速化・効率化の推進に向けた機械設備の導入についての取組を継続して進められたい。	